

平成17年10月13日

4号機の定期検査状況について

当所4号機は平成17年6月25日より第20回定期検査中ですが、当所1号機タービン建屋内における水漏れ事象(平成17年8月4日、8月11日、9月22日お知らせ済み)を踏まえ、タービン建屋地下1階に設置された給水加熱器ドレンポンプ*¹(C)の点検を実施したところ、10月7日、当該ポンプが収納されているポンプバレル(埋設容器)を収めたコンクリートピット内に湧き水が浸入していることを確認いたしました。また、同日に採取したコンクリートピット内の溜まり水について、水質分析を行ったところ、10月12日、自然界に含まれる濃度よりも高い*²トリチウム*³が検出されました。

今後、詳細な調査を実施することといたします。

なお、タービン建屋周囲に敷設されている排水設備*⁴の水を分析した結果、トリチウム等の放射性物質は検出されていないことから、外部への放射能の影響はないものと考えております。

以 上

* 1 給水加熱器ドレンポンプ

給水加熱器で発生する凝縮水を復水系統に回収するためのポンプであり、A・B・Cと3台設置されている。

* 2 自然界に含まれる濃度よりも高い

- ・自然界の海水のトリチウム濃度は約 5×10^{-4} ベクレル/cm³
- ・今回検出された水のトリチウム濃度は約0.6ベクレル/cm³

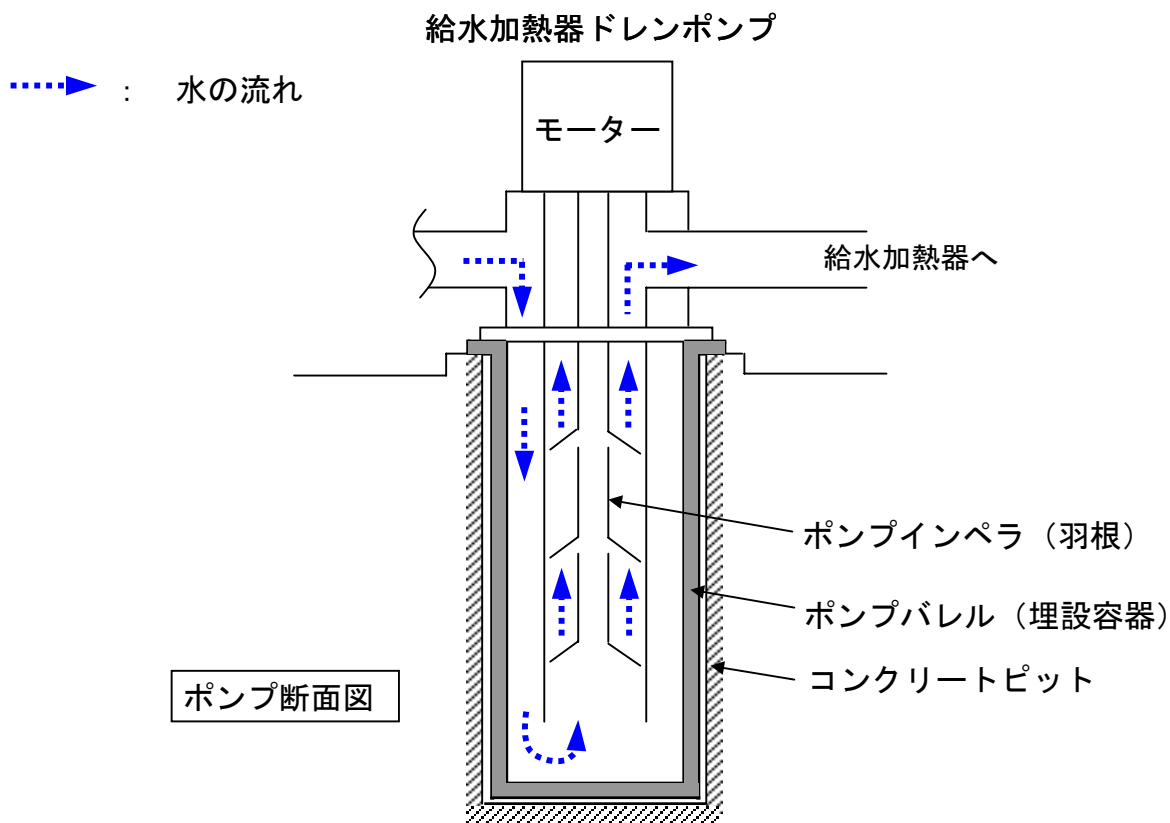
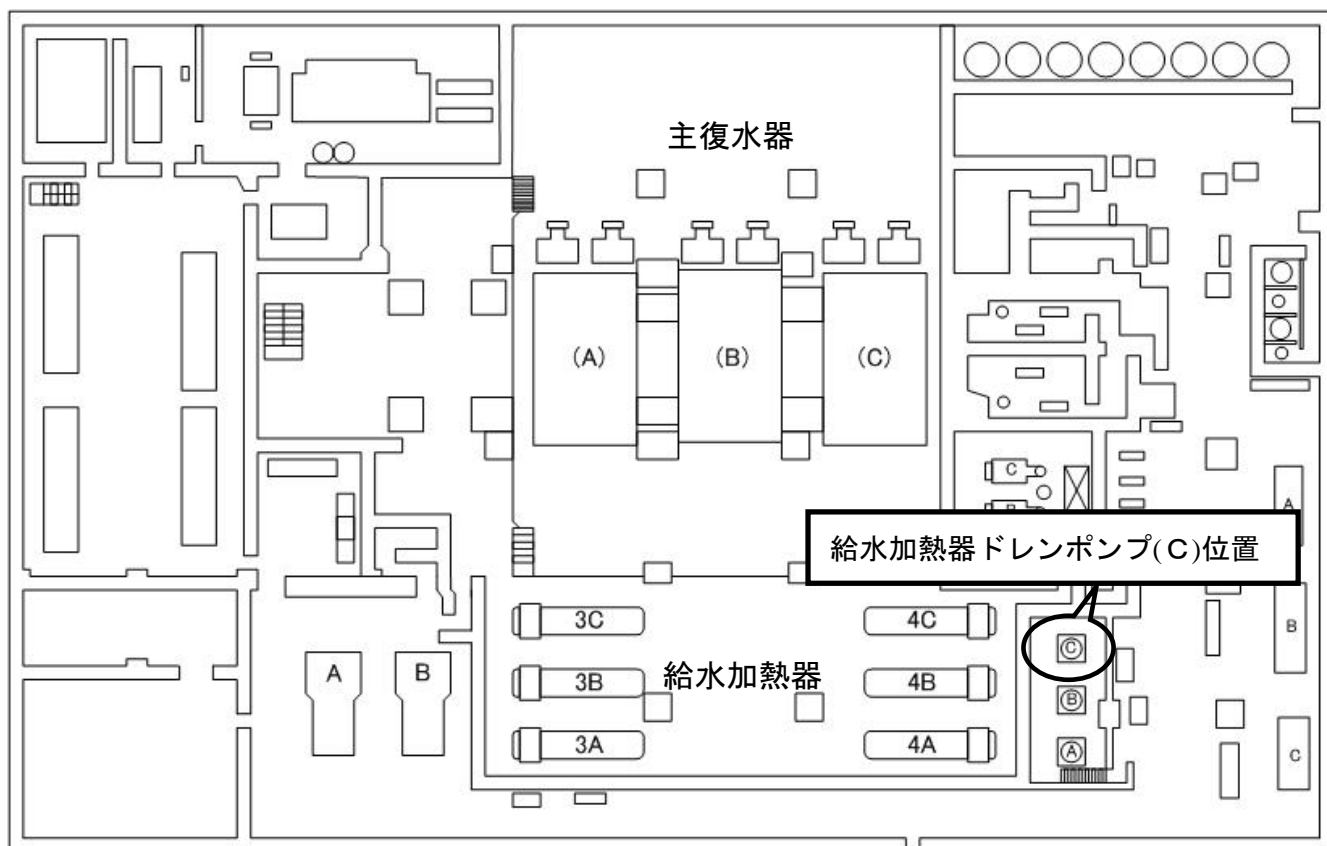
* 3 トリチウム

水素の仲間地球上のどこにでもある放射性物質で、原子炉の中でも発生している。

* 4 排水設備

各建屋に過剰な水圧がかからないよう、湧き水をくみ上げるための設備で、タービン建屋や原子炉建屋などの周囲に設置している。

タービン建屋地下1階



4号機タービン建屋給水加熱器ドレンポンプ概略図